

# 富山建設で着工

## 日本 グランデ 札幌・中央区の分譲MS

日本グランデ（札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長）は、分譲マンションのグランファアール山公園南コートハウス新築を主体、設

備一括で富山建設に依頼し、着工した。2021年3月下旬の完成を予定している。規模はRC造、5階、延べ3888平方メートル。

LDK3戸、2LDK14戸、3LDK24戸、4LDK4戸の計45戸を設ける。共用施設としてシアタールーム、通信カラオケルーム

のほか、バーベキューセットを備えた屋上庭園などを設置。駐車場は31台分用意する。自社で設計した。

建設地は札幌市中央区南8条西25丁目1の2の敷地2399.1平方メートル。周辺は西友旭ヶ丘店やDCMホームック旭ヶ丘店など店舗が充実しているほか、市立緑丘小、啓明中が近い。

道内に展開する同社分譲マンションで最大の12

工業者を選定中。2022年6月の完成を目指す。

の見直し。駐車場は平置きを中心に住戸数の8割

が担当している。建設地は札幌市豊平区

## 省 食材加工施設整備を支援

### 水 農 国産への切り替え促進

農林水産省は、外食産業などで使用する農畜産物の輸入品から国産に切り替える動きを促進するため、野菜のカットや冷凍に必要な施設整備を支援する。中国での新型コロナウイルスの感染拡大で、一時海外で加工された野菜の輸入が難しくなったことなどを踏まえた。2020年度補正予算案に143億円を計上した。農水省によると、外食

産業などでは皮むきやカットといった加工をされ、すぐに料理に使える状態のタマネギやシヨウガ、ネギを中国から輸入して使用している。ただ、中国での感染拡大で輸入できなくなった際は、国内で食材を加工できる設備が少なく、対応が難しくなったという。中国からの輸入は徐々に回復してきているが、日本では新型コロナウイルスの感

染拡大に伴う外出自粛が続いている。これにより、各家庭での料理に便利なカット野菜の需要は高くなるとみられる。

そこで、農畜産物のカットや冷凍、安定した出荷などに必要な施設の整備や改修に対し、20億円を上限に半額を補助することにした。産地や加工メーカー、卸、飲食店の関係者らが連携して国産食材を使用する計画を作成し、都道府県に提出することを条件とする。

スキームは、産地の収益力強化を目的とした「強い農業・担い手づくり総

合支援交付金」と同様で、都道府県を通じて支援する。今回は、新型コロナウイルスを巡る状況に対応するため、採択要件を一部緩和。同交付金では通常対象とされていない不要設備の撤去も支援する考えだ。

### 4月の輸出額 22%減52兆円

#### 財務省

財務省が21日発表した2020年4月の貿易統計速報（通関ベース）によると、輸出額は前年同月比21・9%減の5兆2023億円だった。09年